



山崎小だより

八雲町立山崎小学校

令和2年10月31日発行

「自分自身、限界を設けていない」～一歩ずつ成長を！

八雲町立山崎小学校長 澁谷克巳

例年にない雪虫の大群が、初雪の近いことを知らせています。

さて、表題の言葉は、フィギュアスケートの羽生結弦選手が2016年NHK杯優勝後のインタビューで「自分自身、限界を設けていない。毎シーズン同様課題をクリアしていき、速度の速い遅いはあるが一歩ずつ成長していけたら。」と締めくくったときのものです。彼は、すでに世界選手権やオリンピックでの優勝、300点越えの成績など前人未到の偉業を果たしながら、さらに、その先をめざしていたのです。2018年ピョンチャンオリンピックでは、その言葉通り連覇を果たしています。世界のトップを維持するには最高難度の演技と、それに伴う難易度の高い技が求められます。羽生選手といえど容易なことではありません。今季のグランプリシリーズ欠場を表明している羽生選手ですが、4回転アクセル挑戦を明言していますので、次に彼が姿を見せるとき、その成長と活躍が楽しみです。

本日、本校最後の学芸会が開催されました。たくさんの皆様に御覧になっていただきたかったのですが、北海道における新型コロナウイルスの警戒レベルが2に引き上げられる中、参観を家族関係者と山崎地区の皆様限定させていただきました。学芸会は運動会と違い、子供たち2人だけで約2時間発表します。今回は、保育園が出演していたところを学習発表にしました。歌や劇、縄跳びや一輪車、よっちょれも今までにない工夫をしました。子供たちにとって、6年間で初めてのことばかりでしたが、一つずつ課題をクリアしていきました。御家庭の皆様の温かい励ましやお力添えのお陰でこの日を迎えることができましたことに、厚くお礼を申し上げます。皆様の御感想をお待ちしています。

本の紹介

10月8日と21日の全校朝会で、児童が本の紹介をしました。今年度、本校で購入した「怪談5分間の恐怖」シリーズ20冊の中から『12時05分15秒』と家から持ってきた『天気の子』が紹介されました。2人とも、全校朝会で本を紹介するのは初めてで緊張していましたが、しっかりと本を読み込んできて、あらすじや興味をもったところを紹介していました。

修学旅行 行ってきました！

10月1日・2日に、町内複式小学校5校、17名の児童で修学旅行に行きました。新型コロナウイルスのため、3か月延期となりましたが、ウポポイ、マリンパークニクス、登別伊達時代村、洞爺火山科学館、ルスツリゾートに行き、楽しい思い出をたくさんつくることができました。

池の水 全部抜いたドー！！

金魚救出大作戦！！

10月27日に、『池の水 全部抜きます。金魚救出大作戦』を実行しました。閉校に伴い、池の管理ができなくなることから、池が凍る前に金魚を救出することにしました。4月には、大きめの金魚を17匹くらい確認していましたが、今回、池の水を抜いてみたところ、小さな金魚がたくさん増えていて、とても驚きました。大きめの金魚を12匹、小さい金魚が40匹の合計52匹を捕獲しました。

金魚の飼い主を募集しています。興味のある方は、学校まで御連絡ください。



10月7日に火災を想定した避難訓練を行いました。2人とも真剣に取り組み、避難本部まで30秒で避難できました。その後、八雲町役場の御協力をいただき、防災教室を実施しました。段ボールベッドを作り、避難所用のテントを立てて、非常食を食べました。

赤い羽根共同募金の取組も、本校は、今年度で最後となりました。今年は、総額4,500円も集まりました。御協力、ありがとうございました。

自分と向き合う・・・

11月は『心の教育推進キャンペーン強調月間』です。閉校関係の作文やいじめアンケートに取り組み、自分と向き合う時間をつくっていきます。

